

棚や引き出しに、外国の絵本や学習教材を準備し、児童・生徒が自学自習できるようにしています。

ポスターなどの掲示物や、絵本、雑誌、新聞など外国の文化にふれられるものを整備しています。ALT や英語教育支援員と連携して、子どもたちの興味・関心を高める工夫をしています。



外国の絵本を整備  
(吹田市立桃山台小学校)



個別学習の教材を用意  
(大東市立住道中学校)



個別学習のスペース  
(熊取町立熊取南中学校)

授業で使用する電子黒板やパソコン、プロジェクターなどの電子機器類を整備し、デジタル教科書や英語ノートデジタル版を効果的に活用しています。

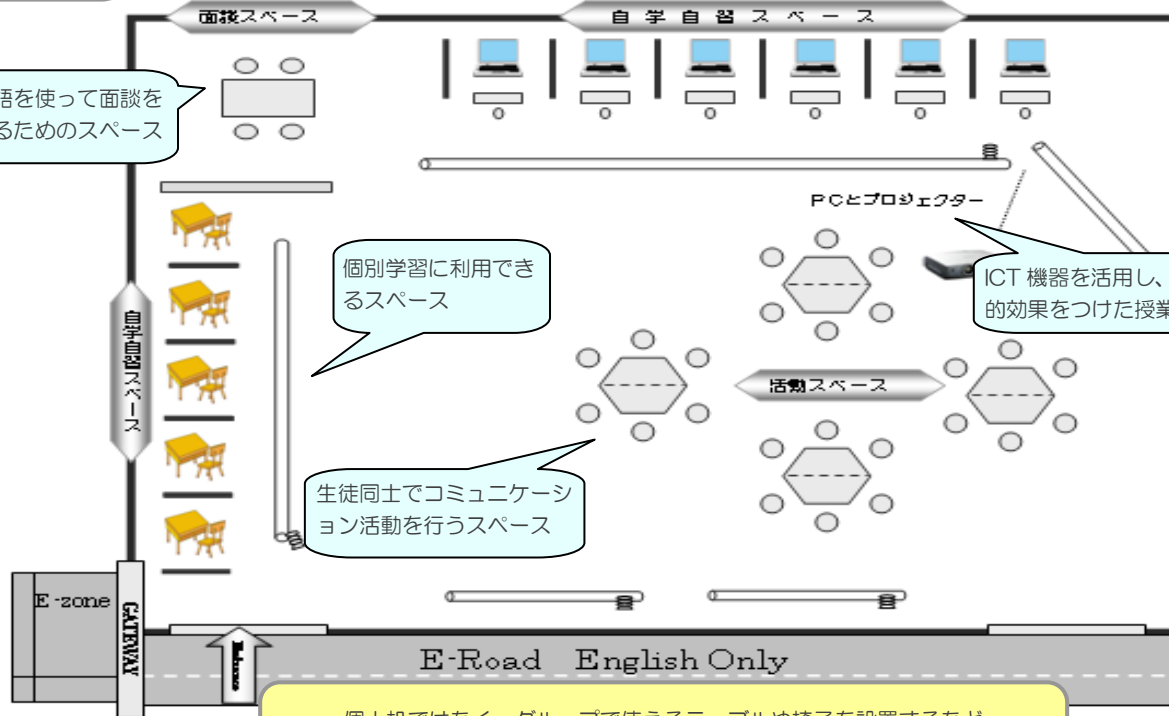


電子黒板で活動内容を指示  
(摂津市立味舌小学校)



外国の言葉や文化を伝える掲示  
(河内長野市立西中学校)

英語を使って面談をするためのスペース



個人机ではなく、グループで使えるテーブルや椅子を設置するなどコミュニケーション活動が実施しやすい工夫をしています。



様々な教具を棚に整理して保管  
(貝塚市立二色小学校)

ICT 機器を活用し、視覚的効果をつけた授業展開

個別学習に利用できるスペース

生徒同士でコミュニケーション活動を行うスペース



電子黒板を使った音読練習  
(箕面市立彩都の丘中学校)



教室に常備されている ALT が作った教材  
(豊能町立東能勢小学校)



班活動を取り入れた授業  
(大阪狭山市立南第一小学校)



移動式のテーブルを設置  
(吹田市立桃山台小学校)



ALT とのコミュニケーション  
(豊能町立東能勢小学校)



デジタル教科書を使った音読練習  
(大東市立住道中学校)